




えほんのおへや通信



2018年3月1日(木)発行 サンガこども園 ☎046-255-0148

記録的なインフルエンザの猛威はおさまりつつあります。今年の冬は寒い日が多かったですが、春はもうそこまでやってきました。

サンガこども園で定期購読しています福音館書店の月刊幼児絵本「こどものとも」3月号の紹介。

<p>こどものとも 0.1.2 10ヶ月～2歳向き</p> <p>「つないで つないで」 福知 伸夫 作</p> <p>黒ねこがやってきて、白ねこに向かって「てをつなぎましょう」。「はい、つなぎましょう」と、みんなでどンドン手をつないだら……。</p> 	<p>こどものとも 年少版 2～4歳向き</p> <p>「ちいさなはりねずみ」 八百板 洋子 文 チャールズ・ターナー 絵</p> <p>夕暮れの森の中を、お母さんやきょうだいたちと歩いていたちいさなはりねずみ。ちいさなはりねずみはみんなから離れ、……。</p> 
<p>こどものとも 年中向き 4～5歳向き</p> <p>「スプーンのおうじさま」 黒崎 美徳 文 鬼頭 祈 絵</p> <p>食器棚のスプーンたちは、いつも元気に働いては、たのしくおしゃべりをして暮らしていました。ある日そこに、りっぱな箱に入った“おうじさま”が現れます……。</p> 	<p>こどものとも 5～6歳向き</p> <p>「あずきの あんちゃん ずんちゃん きんちゃん」 とみなが まい 文 植垣 歩子 絵</p> <p>お手玉がほつれて、中からあずきが三粒こぼれ落ちました。それは、あずきの三きょうだい、あんちゃん、ずんちゃん、きんちゃんでした。外に飛び出た三人には、……？</p> 
<p>ちいさなかがくのとも 3～4～5歳向き</p> <p>「もう いいかあい？ はるですよ」 富安 陽子 文 松成 真理子 絵</p> <p>まだ雪の残る山で、芽吹きのをきを待つ木々が、「もういいかあい？」と山にたずねます。山の返事は、「まあただよお」。雪がとけ、山が「もういいよお」と答えると……。</p> 	<p>他にこんな絵本も購入しました。</p> <p>「じぶんでつくる 6さいまでの アルバム」 作：山脇百合子 6歳から</p>  <p>あなたが生まれたのはどんな日だった？赤ちゃんのときってなにを食べていたのかな？お気に入りだったおもちゃはなに？今はなにをして遊ぶのが好き？生まれてから6歳までのことをお家の人に聞きながら、この本に絵を描いたり、写真をはったりしてみませんか？子猫のプリンも一緒に作ります。ほらね、すてきなアルバムのできあがり！</p> <p>サンガこども園では卒園児が卒園記念として作ります。</p>
<p>【雑感】</p> <p>『読み聞かせハンドブック』の著者トレリスによれば、人間の声は、親が子どもの精神状態を落ち着かせるための最も強力な道具であるそうです。また読み聞かせは大人と子どもの親密な人間関係を基盤としており、同じ喜びを分かち合い共感する…そんな安心できる時間を提供することもできます。</p> <p>絵本は、幼児にとって大人に「読んでもらう」ものであり、読み聞かせの際には、子どもは大人が自分のために読んでくれているという「幸福感」を満喫することができます。</p> 	

※年齢は目安です。